

## 修学旅行 2020 実施計画

洋野町立大野中学校 3 学年

## 1 はじめに

令和 2 年 4 月に実施予定だった修学旅行が、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、9 月に延期されました。しかし、現在の社会状況をみると久慈地区でも感染者が確認され、全国的にも首都圏を中心に感染拡大の収束が見えない状況です。そこで、9 月の修学旅行はあきらめ、11 月に再度延期します。学校としては、中学校生活の大きな行事である修学旅行を、なんとか実施したいという願いのもと計画を練ってきました。しかし、これからの社会情勢次第で、みんなの安心・安全を守ることができないと判断した段階で、計画の変更や修学旅行の中止が考えられます。

## 2 前回の提案から計画を変更した点

- (1) 場所 北海道・函館市内
- (2) 期日 令和 2 年 11 月 3 日（火・祝）～ 4 日（水） 1 泊 2 日
- (3) 引率者 副校長 加藤 公保  
学年主任 佐々木まゆみ  
A 組担任 筒井 久美  
B 組担任 旭 紘太 計 4 名

## 3 変更した理由

## (1) 場所について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を考えると、首都圏方面への修学旅行の実施は懸念事案が多すぎると判断しました。8 月末段階で、函館市内の感染者数は 8 名で、近隣の宮城県 191 名、青森県 33 名、秋田県 45 名と比較して少なく、感染防止の側面から函館を選定しました。

## (2) 期日について

10 月末に文化祭が予定されており、その文化祭が終わってからの修学旅行実施としました。また、11 月上旬を過ぎると北海道の気候は冬季間となり寒さが厳しくなることが考えられます。感染防止の面から、屋外での研修内容を多くするためにも、寒さが厳しくなる前の実施とするために、11 月上旬の実施としました。そして、2 泊 3 日から 1 泊 2 日とし、規模を縮小しました。

## (3) 引率者について

旅行中の不測の事態に対応するために副校長先生が引率長を務め、学年職員 3 名で、生徒指導にあたります。

#### 4 ねらい

- (1) 北海道の自然や文化に触れ、直接見聞したり体験したりすることを通し、自分の知識を深め広げよう。
- (2) 集団行動を通し学年・学級・班として協力すること、健康で安全な活動にするためにルールやマナーを守ること、自分の行動に責任を持ち相手を思いやることの大切さを実践的に学ぼう。
- (3) 働く人々の様子を探求し、自分の将来の職業や目標について考え、自分の進路を自分で切り開いていこうとする意欲の向上を目指そう。
- (4) 学年集団で生活を共にすることにより、お互いの人間関係を一層深め、今後の行事の取り組みや学校生活をより良いものにしていこうとする意識の向上を図ろう。

5 参加生徒 3 学年生徒 男子 17 人 女子 20 人 計 37 人

6 旅行業者 東武トップスアーズ株式会社八戸支店 担当 星 厚史

7 宿泊場所 函館国際ホテル

〒040-0064 北海道函館市大手町 5-10

TEL:0138-23-5151 FAX:0138-23-0239

#### 8 当日の主な日程 →→ 貸切バス JR

##### <1 日目>

集合 7:30 →→→ 二戸駅出発 9:10  新函館北斗駅着 10:53 →→→ 昼食 →→→

<はやぶさ 1 号>

→→→ 五稜郭見学 →→→ トラピスチヌ修道院 →→→ 摩周丸 →→→ 函館山(夜景) →→ 夕食  
→→→ ホテル →→→ 就寝

##### <2 日目>

起床 →→→ 立待岬 →→ 函館湾内クルーズ(貸切) →→→ 金森倉庫群散策 →→→ 昼食 →→→

新函館北斗駅発 14:48  八戸駅着 16:15 →→→ 学校 17:30

<はやぶさ 34 号>

#### 9 学習計画

- (1) オリエンテーション(修学旅行の意義・修学旅行実施要項の確認)
- (2) 組織決定・係活動計画
- (3) 事前学習
- (4) マナー学習・行動学習・キャリア学習(修学旅行で様々な職業を見つける)
- (5) しおり学習
- (6) 結団式・出発式・到着式・解団式(係活動反省)

## 10 活動組織

組織	主な活動内容	担当者
学年執行部	研修スローガン決定 服装・持ち物のきまり検討と点検 集合整列指示・会の進行 見学地等でのお礼のあいさつ・リーダー会議の運営	筒井
学習係	函館の歴史・文化・産業についての事前学習資料作成	佐々木
生活係	行動のきまり（宿泊先・乗り物・見学先） 点検活動（服装・持ち物）	澤里
文化係	新幹線座席・バス座席・食事座席・写真隊形	菊地
保健係	部屋割り決め・入浴の仕方指導・部屋点検 健康観察	旭

## 11 安全上の注意

安全に旅行を行うために、事前に以下の事項を守ろう。

- (1) 添乗員・教員・講師の指示をよく聞き勝手な行動を取りません。
- (2) バスや列車など、乗り物から手などを出すなど危険な行為をしません。
- (3) 見学地では落ち着いた行動を心がけ、不慮の事故や怪我のないようにします。
- (4) 宿泊地や見学地では、許可された以外の場所に立ち入ったり、許可なく展示物等を触ったりしません。
- (5) 大きな地震や豪雨などの天候状況や緊急事態により安全に研修を継続できない場合は、協議の上予定の変更・中止となる場合もあります。
- (6) 旅行中はマスクを着用し、手洗いや手指の消毒、毎日の検温を行うなど、新型コロナウイルス等の感染防止に努めます。発熱などの体調不良時には、すぐに引率の先生に申し出ます。新幹線では、座席を向かい合わせにしません。

## 12 取り組み日程

月	内容	備考
8月	・オリエンテーション(再)	・学級組織、班決定
9月	・係活動開始	・保護者説明会 9月3日
10月	・係会決定事項確認集会 ・しおり原稿完成 ・行動練習・マナー学習	
11月	・結団式・出発式・到着式・解団式 ・修学旅行のまとめ	